

## 平成 21 年度第 6 回議事録

日 時 平成 22 年 3 月 5 日（金） 14:00～17:00

会 場 地盤工学会地階会議室

委員長	笹倉 剛	○	委員	スレン ソッキアン	×	委員	國分 章子	×
委員	松岡 達也	○	委員	別木 孝	×	委員	隅倉 光博	×
委員	細野 康代	○	委員	規矩 大義	○	オブザーバー	末政 直晃	×
オブザーバー	片桐 雅明	×	オブザーバー	竹内 秀克	×			
事務局	永田	○	事務局	長尾	○			

○：出席， ×：欠席

◎本日の議事録作成担当者（松岡委員）

議事録（細野⇒スレン⇒國分⇒隅倉⇒松岡）

### 1. 報告事項

#### 1-1. 前回委員会（1/7 開催）議事録確認（作成者：隅倉委員）

→議事録を確認し、了承された。（別紙 1）

#### 1-2. 前回会員・支部部会（1/13 開催）報告

→笹倉委員長より報告があった。（別紙 2）

→長尾事務局員より、G-CPD や地盤工学会入会に関する案内書（チラシ等）を講習会場への設置していることが報告された。

#### 1-3. 前回広報委員会（2/3 開催）報告

→永田事務局員より報告があった。（別紙 3）

→現在本委員会よりスレン委員が参加しているが、次年度参加継続の必要はなく、必要に応じて参加すればよいとの意見が委員会が出された。しかし、データベースを改善する件もあることから、本委員会より最初から派遣するほうがよいのではないかとの意見が永田事務局員より出された。

#### 1-4. 外部団体会議報告

☆日本工学会 PDE 協議会

☆建設系 CPD 協議会

平成 21 年度負担金請求書

→今年度の請求書、内訳書が届いた。（別紙 4）

平成 22 年度事務局について

→永田事務局員より、全国土木施工管理技士会連合会より提示された前年度引継ぎの流れ、事務局費用の根拠に関する資料の報告があった。（別紙5）

→3/12の建設系CPD協議会運営委員会にて、来期事務局が地盤工学会に移ることが議題に挙がる予定。事務局への応募について等の書類については、まだ明らかでないため、委員会後確認することとなった。

→長尾事務局員より、千葉市がCPD運営団体を募集する旨の新聞記事の紹介があった。3/9の会員・支部部にも同記事を提供予定。地盤工学会として、すぐに応募する必要はないとの結論となった。

#### 1-5. 会員DB準備WG（1/12開催）（別紙6）

→永田事務局員より、会員・支部部会でデータベース改善WGが立ち上がったこと等の報告があった。また、G-CPDシステムの改善が、会員データベース改善より早い時期に実施されるため、業者の選定を含め、G-CPD以外の情報（会費の納入データや他学会内のデータベース）をどう付けていくか、できるだけ効率的なシステム作りのための議論を今後行っていく。

→G-CPDシステム改善に来年度着手する（予算100万円）。CPDに関する事項は、業者を選定し本委員会で進めていく。

→他支部より、Windows7でカードリーダーが使えない等の苦情が来ている。来年度のシステム管理もメテオに行ってもらうため、笹倉委員長含め3月中にメテオと今後のことについて話し合いを行う。

→データベース改善WGに本委員会システムWG（隅倉、松岡）から委員を派遣する方向で検討することとなった。（次回委員会で検討）

#### 1-6. 建設系CPD協議会準備WG（2/24開催）（別紙7）

→来年度、システム部会の活動を休止し、活動を停止していたルール部会を活動再開させ、現状各団体で異なっているルール統一に向けて活動していくことが、細野委員より報告された。

→来年度建設系CPD協議会のルール部会と運営委員会の両方に本委員会より委員を派遣することが永田事務局員より報告された（来年度、地盤工学会が事務局を担当となり、事務局担当者は学会の意見を発言することが難しくなるため）。具体的な人員配置は、4月以降検討することとなった。

#### 1-7. その他

→長尾事務局員より、前回議事録2-1プログラム認定審査について、講習テキストの事前提出が原則であることを申請書ダウンロード時に記載していることが報告された。

## 2. 審議事項

### 2-1. プログラム認定審査

→社団法人日本アンカー協会より審査依頼があり、認定した。（別紙8）

## 2-2. 緑化工協会について（別紙 9）

→永田事務局員より、緑化工学会の会員から、地盤工学会に CPD ポイント認証申請書がきたことについて説明があった。緑化工学会は、地盤工学会の CPD のシステムを使用する契約を交わしているが、ポイントの相互認証の契約は交わしていないため、認証はしないこととなった。今後同様の申請がある可能性もあることから、事務局通しで緑化工学会の認識を確認し、必要であれば明文化の検討を行うこととなった。

## 2-3. 次年度委員について（別紙 10）

→スレン委員、國分委員欠席のため、次回委員会で検討する。

## 2-4. オンデマンド講習会ポイントについて（別紙 11）

→オンデマンド講習会（地盤工学会主催の講習会の録画動画をストリーミング配信する）に関する CPD ポイントの付与について古屋理事より説明があった。

→実講習会とオンデマンド講習会の時間が若干異なるが、元となる実講習会の CPD ポイントの付与を認めることとなった。

→受講エビデンスは、受講終了時に画面上に自動的に表示されるようにする。地盤工学会員は、プリントアウトしたものを事務局に送付し、ポイント認証を行うこととする。

→オンデマンド講習会は個人学習のため、複数人で見える場合であっても、購入者 1 人にポイントを付与する。

→（独）科学技術振興機構の Web ラーニングの CPD 付与について、建設系 CPD 協議会で提案するよう古屋理事より依頼があり、次回協議会で議題に挙げることとなった。

次回委員会開催日　：平成 22 年 4 月 27 日　（火）　14:00～17:00　地盤工学会 3 階中会議室